ボーリング柱状図

調　査　名　平成２７年度　弘前市りんご公園地質調査業務

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No.3	調査位置	弘前市大字清水富田字寺沢125番地　地内			北緯	
発注機関	弘前市			調査期間	平成 27年 9月 16日 ～ 27年 9月 28日	東経	
調査業者名	有限会社 弘青さく泉工業所 電話（0172-35-2181）	主任技師	森　淳一	現場代理人	森　淳一	コア鑑定者	森　淳一	ボーリング責任者	木原　政道
孔口標高	KBM +2.108m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	TONE　TS-100	ハンマー落下用具	半自動
総掘進長	16.45m								エンジン	ヤンマーNFD9	ポンプ	TONE　NP40

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	1.61	0.50	0.50		表土	褐灰			砂混じりシルト主体 含水低い、粘性弱い 草根を混入
1					火山灰質粘土	暗茶～暗灰		中位の～硬い	全体に不均一 含水中位、上部はやや低い 粘性中位～やや強い 上部と下部は若干砂分を混入する
2									
3	-0.89	2.50	3.00						
	-1.59	0.70	3.70		火山灰質砂	褐灰	中位の		細中砂を主体 不均一、上部は粘土を混入 含水中位
4					粘土混り砂礫	褐灰～暗灰	中位の～密な		全体に不均一 含水中位 φ20～50㎜の亜角～角礫を主体 マトリクスは粗砂からなる 3.90～4.00m間、φ100㎜の玉石を点在 6m付近、礫の混入が少ない 部分的に粘土質となる
5									
6									
7									
8	-6.69	5.10	8.80						
9					火山灰質砂	暗灰	中位の		中～粗砂を主体 含水中位 全体に軽石粒を混入 下部は軽石粒を主体
10	-8.39	1.70	10.50						
11					粘土混じり砂礫	暗灰	中位の～非常に密な		φ10～40㎜の亜角～角礫主体 全体に不均一 部分的に粘土質～粘土混じりとなる 含水中位 13.70～15.00m間は、コア長50～100㎜の玉石を主体とする 玉石は非常に硬質
12									
13									
14									
15									
16	-14.34	5.95	16.45						

孔内水位(m)／測定月日：9/16 1.25

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	5	4	4	13／30	13
1.45～2.15	2	1	2	5／30	5
2.45～3.15	4	3	4	11／30	11
3.45～4.15	5	6	10	21／30	21
4.45～5.15	11	5	12	28／30	28
5.45～6.15	5	5	7	17／30	17
6.45～7.15	7	18	15	40／30	40
7.45～8.15	23	9	6	38／30	38
8.45～9.15	4	6	5	15／30	15
9.45～10.15	1	3	7	11／30	11
10.45～11.15	12	10	11	33／30	33
11.45～12.15	12	15	18	45／30	45
12.45～13.15	15	15	16	46／30	46
13.45～14.15	30	20／0		50／10	150
14.25～15.15	21	29		50／20	75
15.35～16.15	17	16	17	50／30	50
16.45					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日：9/16、9/18、9/19、9/25